

# 医療情報標準化指針

指針番号	HS004	採択年月日	2003年11月28日
提案申請団体名 ・責任者名	(社)日本画像医療システム工業会 桂田昌生	規格作成団体名 ・責任者名	(社)日本画像医療システム工業会 DICOM委員会 篠田英範
提案規格案名 (版数)	和名	DICOM規格	
	英名	DICOM Standards	
提案規格案の目的、概要(提案規格案策定経緯及び決定プロセス)	和文	DICOM規格は医用画像機器に相互運用性を付与するために、 ①画像関連情報のネットワーク通信を目的に機器が装備する一群のプロトコルを定義し、②これらのプロトコルによって交換される操作指示の構造と意味および関連する情報を明確に規定し、③媒体による情報交換のために媒体による情報保存サービスやそのためのデータ構造などを規定し、また④規格に適合するために実装上必要な情報を規定している。	
	英文	The DICOM Standard facilitates interoperability of medical imaging equipment by specifying: ① A set of protocols for network communications. ② The syntax and semantics of Commands and associated information which can be exchanged using these protocols. ③ A set of media storage services for media communication. ④ Information that must be supplied with an implementation for claiming conformance.	
<b>提案規格案の適用領域、使用方法</b> 画像診断部門(放射線部門、循環器部門、生理検査部門など)が利用する医用機器やシステムが、関連する機器やシステムとの間で情報交換を行う場合に適用。DICOMが定義するオブジェクトに適切な値を設定し、DICOMの通信機能を用いてシステム間で情報交換を行う。また、適用に当たっては規格に定められたどのようなサービスを装備している、どのような条件で利用可能であるかを宣言することによって当該機器やシステムの接続性を明確にすることによる。			
<b>関連他標準との関係(相違点及重複点の取り扱い方)</b> HL7が医療情報システム全体をカバーする規格を定めているが、DICOMは画像診断部門に特化したサービスを規定している、DICOMが定義する構造化レポートに関してはHL7 V3が定めるCDAとの間でマッピング関係を整備する努力が行われている。また、IS&C委員会が保存の規格を定めているが、DICOMが定める媒体を用いたデータ交換とはオーバーラップするところはない。最近ISO/TC215のWG2でWeb経由のDICOMデータアクセスの標準化を始めた。			
提案規格案の関連情報	メンテナンスの方法	(社)日本画像医療システム工業会も参加するDICOM Standards Committeeによって定期的に改良、是正、破棄が行われている。	
	入手資格	特になし	
	入手方法	米国の電気機器製造者協会のホームページからダウンロード可能。下記URL参照。 <a href="http://medical.nema.org/dicom/2003.html">http://medical.nema.org/dicom/2003.html</a>	
	有効期限	定期的に保守されており、現在のところ明確に定義された期限はない。	
	価格等	何人も無料で入手可能。ただし、印刷物として規格を入手する場合は有料。	
	知的所有権	特になし	
	添付資料	DICOM PART1 (Introduction and overview)抜粋	
実務運用上の連絡者	・氏名 篠田英範 ・TEL(0287)26-6785 ・FAX(0287)26-6071 ・E-mail hidenori.shinoda@toshiba.co.jp		
特記事項	この度の提案については2003版DICOM規格に基づいて行った。大きな変更、例えば、パートの廃棄や追加があった場合には再申請、再審議とする。		